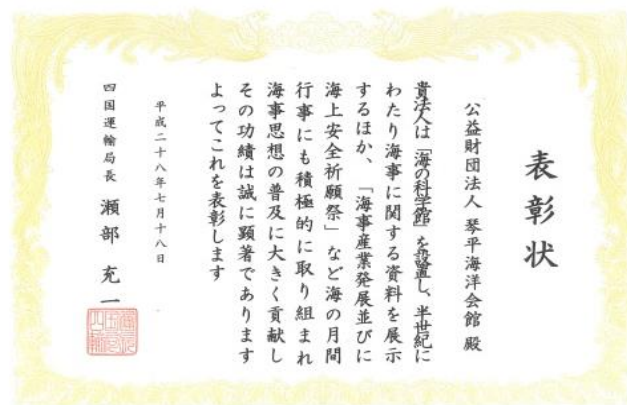


◇ 海事功労者表彰 ◇

会員館の「琴平海洋博物館（海の科学館）」は半世紀にわたり海事に関する資料を展示するなど、海事思想の普及に大きく貢献した功績を評価され、平成28年海の日付で四国運輸局長より表彰されました。



表彰状 琴平海洋会館（琴平海洋博物館）

◇ 平成28年度通常総会 ◇

平成28年6月9日（金）関門海峡ミュージアム 旧大連航路上屋（北九州市門司区西海岸5）にて

平成28年度通常総会が開催され全ての議案が原案通り採択されました。

総会において、会長、副会長、監事が選任され、会長の指名により、企画委員長はじめ8名の企画委員が決まりました。

なお、前会長の戸高一成氏は顧問に選任されました。

《新役員》

会長

志澤 政勝 横浜みなと館 館長（新）

副会長

鈴木 浩司 船の科学館 館長

上井 厚 名古屋海洋博物館 館長（新）

監事

森川 雅行 (株)不動テトラ 専務執行役員

伊藤 隆夫 東京みなと館 館長（新）

《新企画委員》

委員長

山下 博道 名古屋海洋博物館 事業部管理第二課長

委員長代行

森田 潔 神戸海洋博物館 参事

委員

飯沼 一雄 船の科学館 学芸部長

山口 祐輝 横浜みなと博物館 学芸員

椿原 靖弘 フェルケール博物館 学芸部長

新谷 博 大和ミュージアム 学芸課長

田村 隆文 青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸 事業部長

酒井祐次郎 日本郵船歴史博物館 チーム長（新）

◇ 博物館見学会 ◇ ◇ 視察研修 ◇

総会後は旧大連航路上屋、関門海峡ミュージアムを施設見学、関門海峡クルージング、交流会を行いました。



総会



施設見学



関門海峡クルージング



交流会



みなとの博物館
ネットワーク・フォーラム

Port Museum Network Forum

Port
Museum
Network
Forum



みなとの博物館ネットワーク・フォーラム事務局
（一般社団法人ウォーターフロント協会内）
〒108-0023 東京都港区芝浦 3-11-9 武藤ビル
TEL:03-3453-4191 FAX:03-3453-0252
E-mail wf@waterfront.or.jp
http://www.waterfront.or.jp/portmuseum/

ご挨拶



会長 志澤 政勝
横浜みなと博物館 館長

このたびの総会におきまして、大和ミュージアム館長の戸高一成前会長の後を継いで、会長に選任されました。微力ではありますが、みなとの博物館ネットワーク・フォーラムの発展に尽力したいと思います。前任者同様ご指導ご協力をいただければ幸いです。

さて、4年後の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、日本中が活発に動き始めています。また、訪日外国人観光客は毎年増え続けています。オリンピックを機にさらに加速すると予想されます。博物館でも外国からのお客様に博物館を楽しんでいただくため、展示やサービスの多言語をはじめ、様々な対応が求められています。

当フォーラムの活動も13年目に入りました。今年は加盟博物館が3館増え37館となりました。フォーラム事業への参加館が増え、活動の輪が広がっていくことが大切です。そのためにも、会員館が持っている情報やノウハウなどの共有化を図り、PRを積極化して、より一層のネットワークの強化をめざしたいと思います。

会員の皆様には今後ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

I. 助成事業

平成28年度の助成事業として次の8事業が認定されました。

1	青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸	北海道新幹線開業記念「八甲田丸活性化事業」
2	あおり北のまほろば歴史館	青森の民俗文化魅力発信事業
3	山形県酒田海洋センター	リーフレット作成
4	横浜みなと博物館	日本丸メモリアルパーク&横浜港フィールドミュージアムマップ製作
5	日本郵船歴史博物館	企画展「ザ・模型—NYK・型—NYK Model Ships—」
6	名古屋海洋博物館・南極観測船ふじ	企画展「海の仕事パネル展」
7	うみてらす14	うみてらす14 小学生向け学習用パンフレットの印刷
8	関門海峡ミュージアム	夢とロマンの帆船模型展

※助成事業募集は毎年10月に正会員を対象にメールにてご案内しています。

お問い合わせは事務局まで ☎03-3453-4191 e-mail wf@waterfront.or.jp

平成27年度は3事業実施しました。



館山市立博物館分館
“渚の駅”たてやま
渚の教室



日本郵船歴史博物館
企画展「船ヲ解剖スル」
～谷井建三原画の世界～



名古屋海洋博物館
第12回南極教室

II. 情報誌「港湾」 みなとの博物館 HOT NEWS

4月より公益社団法人日本港湾協会発行の月刊情報誌「港湾」に「みなとの博物館 HOT NEWS」コーナーの掲載が始まりました。

- 4月号 横浜みなと博物館
- 5月号 関門海峡ミュージアム
- 6月号 名古屋海洋博物館
- 7月号 船の科学館
- 8月号 大和ミュージアム



III. スキルアップ交流会

会員博物館の実務に携わる職員が相互に交流し、併せて資質の向上や学芸活動の充実を図ることを目的に実施しました。

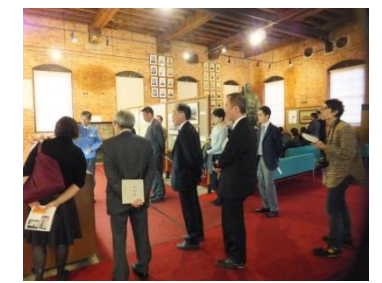
- ・開催年月日：平成27年12月10日（木）～11日（金）
- ・開催場所：長崎歴史文化博物館
- ・研修参加者：7博物館 10名
- ・研修施設：長崎歴史文化博物館、長崎造船所史料館、軍艦島上陸クルーズ参加
長崎を代表する博物館である、長崎奉行所の再現を博物館に取り入れた「長崎歴史文化博物館」と「三菱重工業(株)長崎造船所史料館」において、新たな産業革命遺産等の歴史・文化の保存や活用と、これらを核とした観光振興や博物館活動の活性化についてお話を伺いました。
- ・交流会及び意見交換会：「銀嶺」ミュージアムレストラン（長崎歴史文化博物館敷地内）



長崎歴史文化博物館



長崎歴史文化博物館にて研修



長崎造船所史料館

IV. 『10年の歩み』発刊にあたってご挨拶

前会長 戸高 一成（大和ミュージアム 館長）

私たちの、みなとの博物館ネットワーク・フォーラムの活動が10周年を迎えました。島国である日本にとって、海洋問題は、歴史的、文化的にも、政治的、経済的にも、あらゆる面で大きな問題でありながら、現在も国民に対する情報の提供は十分とはいえない状況なのです。

このような中、国土交通省はじめ、多くの方々のご支援を頂いて誕生したのが、みなとの博物館ネットワーク・フォーラムでした。

少しでも海にかかわりのある博物館、また博物館的な啓蒙教育活動をしている施設が、互いに多くの情報を交換しながら、それぞれの地域において、それぞれの施設の活動を活発化させてゆくことが出来れば、将来の、より大きな成果を実現できるのではないのでしょうか。

10年と言う時間は、みなとの博物館ネットワーク・フォーラムにとって、長いものでは有りません。まだまだ試行錯誤の段階と言っても良いのが実情です。しかし、この10年間の活動を振り返ることによって、今後、私たちの活動にとって何等かの参考となる事柄も少なくは無いのではないのでしょうか。このような意味から、このたび10周年記念誌を纏めることになったものです。

この、小さな10周年誌が、みなとの博物館ネットワーク・フォーラムの会員の皆様の、次の10年の活動に、何等かの足掛かりになる事を期待しています。

(※) みなとの博物館ネットワーク・フォーラム「10年のあゆみ」は2016年2月発刊しました。